

進捗状況の目標値に大幅な変化があった事業

新型コロナウイルス感染症や社会情勢等により、大きな変化が生じた事業について（該当があれば記載）

- (1) 資料4の目標値に大きな影響が出た事業についての課題
 (2) (1)の課題を踏まえた対応

事業番号	該当事業名	担当課	(1)～(2)
1	子育て体験学習の推進	教育庁 学習指導課	(1) 新型コロナウイルス感染症の影響により行わなかった学校が多かったため。 (2) 新型コロナウイルスの影響を踏まえた教育活動の規制緩和についての通知を周知し、感染対策を講じた上での実施や同時双方型のオンライン体験活動等のICT機器の有効な活用を促す。
13	高校生インターンシップ推進事業	教育庁 学習指導課	(1) 生徒の職業意識の啓発や就職支援につながる計画的な活動が困難となった。 (2) オンラインによる企業説明、就業疑似体験等を実施した。
76	幼児教育推進事業	教育庁 学習指導課	(1) 新型コロナウイルス感染症の影響により派遣申請の減少及び中止があったため。 (2) R2とR3の比較では向上している。感染対策を講じた上での実施やオンラインの活用などを促し、引き続き本事業を推進していく。
77	子どもたちの主体的な学び促進事業	教育庁 学習指導課	(1) 新型コロナウイルス感染症の影響により、教育活動が制限されたため各学校で主体的な授業改善に取り組むことが困難であった。 (2) 全国学力・学習状況調査の結果の分析ツールの活用を周知し、引き続き授業改善を進めていく。
93	出産後の訪問支援の強化 (養育支援訪問事業)	児童家庭課	(1) 新型コロナウイルス感染症を理由に訪問拒否されることで、状況把握が難しくなる。また、訪問時期の延期により支援を必要とする人の早期発見が難しくなる。 (2) 電話やオンラインでの対応に代替する。(しかし、オンライン対応が間に合わない市町村があった。)